

Raymond Academy

レイモンド学園だより No.44

2022年11月

主の御名を賛美いたします。

レイモンド学園のために背後の篤いお祈りを感謝いたします。

今回は2学期の活動を中心にご報告します。

毎週火曜日にはチャプレンである伊東献仁先生が、その月に学んでいる主イエス様のご性質についてメッセージして下さいます。主のしもべとして主イエス様のお姿から学べるのが、クリスチャンスクールの何よりの特権であり祝福です。

生徒達が日々みことばと主の御霊の働かれる学校の活動を通して、ますます知恵が進み豊かな心と信仰の成長を遂げることが出来ますように、引き続きお祈りいただけますようお願いいたします。

伊東美穂

【チャペルメッセージ】

「時間を厳守する」

伊東献仁



「しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。それは、律法の下にある者を贖い出すためであり、私たちが子としての身分を受けるためでした。」

ガラテヤ 4:4~5

神様は、いつも時間通りにことを行われます。「遅い」と感じるがあっても、実は違います。聖書には、「神様の時」を待てなかった人たちが次々に登場します。

イスラエル人は長い間、救い主到来の約束を待ち続けていました。旧約聖書と新約聖書の間には400年間の空白があります(暗黒時代)。その間、中には希望を失った人もいました。しかし、シメオンとアンナはあきらめませんでした(ルカ 2:25~38)。神殿で毎日祈り、救い主を待ち続けていました。そしてついに、彼らの信仰が報われる日が来ました。マリアとヨセフが幼子のイエス様を、神様に献げるために宮に来た時、2人は救い主に会えたことを感謝しました。

私たちは、自分が望むタイミングで神様が働いてくださらないと失望することがあります。しかし聖書は(ガラテヤ 4:4~5)と語ります。クリスマスは、「神様の時」があることを思い出す時です。クリスマスは、神様が約束を実現してくださった時です。神様のタイミングは常に完璧です。その時を待つ価値は、十分にあります。私たちは、神様に祈る時、自分に都合の良いタイミングで祈りに応えて欲しいと願い、待てないために失望することがあります。あらゆることにおいて、いつでも、神様のタイミングを辛抱強く待てる者でありたいです。

神様の時間は、私たちの時間と違うことがあります。私たちの時間は直線的で年代順ですが、神様は時間を超越されている御方です。神様にとって、千年は一日のよう、一日は千年のようであると言われていています。神様はご自分の時が満ちた時に働かれます。祈ったから…神様が急いで動いてくれるとは必ずしも言えません。では、待っている間、私たちは何をしているのでしょうか。待っている間、私たちは祈りによって、神様と交わります。祈ることで神様と交わり、神様の時が満ちて、祈りが応えられるのを待ちます。この、祈ることができるとは、何という特権でしょうか。

神様はすぐに願いを叶えてくれないかもしれません。しかし、私たちの信頼を絶対に裏切りません。神様の時はいつも正しいことを信じて、忍耐強く、神様の時を待つ者となりましょう。

(2022年8月30日 チャペルにて)

【卒業生の証】

「神の御手の中にある道」

カポンポン頼基



レイモンド学園在学中、主は私に創世記 50:20 の御言葉を語られました。

「あなたがたは私に悪を謀りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。」

ヨセフは兄弟たちに裏切られ、エジプトに売られます。そして彼はそこから人生のどん底と言えるような状況にまで追いやられてしまいます。しかし、神様はどんな時でもヨセフと共におられました。それら悪に思えるような出来事も、最後には全てが益と変えられて、ヨセフはそのように語ったのでした。

私はこの御言葉を卒業前、自分の将来に不安を覚えていた時与えられました。まず朝起きてから自分のディボーションの中で、次に学校の朝礼の中で、そして最後に PACE の中で 1 日に 3 度も同じ箇所が語られたのです。

3 度目として PACE の中でこの御言葉を読んだ時、これは神様が今、私に語っておられるんだ、このヨセフの人生のような事を神様は用意しておられるんだ、と理解しました。「どんなに苦しく、不安や恐れの中にあっても主に信頼しよう。目の前にある問題や、恐れに目を止めるのではなく、その先にある、神様の約束、祝福に心を留めて歩んで行きたい」と思いました。

卒業した後、まさに自分の将来への不安と恐れを抱いていた私に、イスラエルで学び訓練を受ける道が開かれたのでした。1年後、日本に帰国して神学校を探していた時、コロナが始まり、また不安や恐れが私を襲いました。しかし、その中であって、私は何度もこの御言葉を思い出し、心に刻みました。神様の恵みにより、神様は全てを益へと変えてくださり、神学校と結婚の道を開いて下さいました。

この御言葉は今でも私の信仰生活の指針となっています。神様はどんな時でも、ど

んな状況にあっても、私と共におられ私を日々導いてくださっています。時には嘆き、神様に不平不満を言うことがある弱く脆い私です。しかし、それでも神様は私を愛し、恵みと慈しみを注いでくださっているのです。私には力などありません。

この事を心に留め、また学生時代に与えられた創世記 50:20 の御言葉を握ってこれからも歩んでいきたいです。

【報告】

6月17日(金) Quarterly Trip in ソレイユの丘



1学期を一生懸命に頑張った生徒達みんな、横須賀市にある「ソレイユの丘」へ遠足に出かけました。それぞれゴーカートを運転したり、観覧車に乗ったり、また動物と戯れたりと楽しい時間を過ごしました。

午後には近くの海辺にも出かけ、水生動物の観察や貝拾いなども楽しむことができました。

6月25日(土) Sports Fun Day

今年も川上小学校の体育館をお借りして、運動会を開催することが出来ました。玉入れ、障害物競走、親子競技、選抜リレーなどの競技が行われ、観客席から熱い声援が送られました。中でも3年ぶりとなったソーラン節の演技は小学1年生から高校生3年生まで一生懸命に踊る姿に感動を覚えました。



7月8日(金) Inter School Event



第2回ACEスクール交流会がオンラインによって3年ぶりに開催されました。北海道、福島、東京、神奈川、福岡、沖縄のスクールが参加し、共にイスラエル在住の松田優先生のメッセージに耳を傾けました。また、スクールビデオの鑑賞や、各スクールによる賛美の演奏、絵画、写真、プロジェクトなどの発表も楽しみました。いつか対面での開催が出来るようお祈り下さい。

9月19日(月) チャーチ・オブ・ゴッド東戸塚キリスト教会 50周年記念ハンドベル演奏



50周年記念式典にて「He is Exalted」、
「America The Beautiful」、「Amazing Grace」の
3曲を、中高生達が演奏しました。堂々とした演
奏に大きな拍手が送られました。心からの賛美を
神様にお捧げすることができ、感謝でした。

10月7日(金) Quarterly Trip in 科学技術館



2学期の全員遠足は東京にある科
学技術館に行きました。リニュー
アルされた館内では、車や機械の
仕組みや、音や光の性質について
様々な角度から楽しく学ぶことが
できました。PACEの学びにもつな
がるよい学習の機会となりました。

【支援献金】

レイモンド学園は主の弟子育成のため、限られた施設・人材の中でも日々祈りつ
つ積極的に様々な活動に取り組んでいます。体育館を利用しての体育授業・クラブ
活動・社会科見学・遠足・運動会・生徒大会(国内、国外)、企業を学ぶ講演会・エ
コセミナー・大学の模擬授業など、身体・心・信仰が健やかに育ち輝けるように思
考をこらしています。これらの活動のために、温かいご支援を賜りたくご協力をお
願い申し上げます。

支援献金振込先

郵便振替 00230-8-38999 レイモンド学園 伊東献仁